



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

済生みと

No. 38
2020
Spring

病院長から地域の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策
皆様と力を合わせて困難を克服

令和2年4月 新任医師紹介



私達は 患者さんの悩み、苦しみに共感し
安全に十分に配慮しながら、良質の医療を提供します

地域の皆様へ

皆様と力を合わせて困難を克服

水戸済生会総合病院
院長

生澤 義輔



今春4月、当院第一駐車場の南にある桜は例年通り華やかな開花を見せてくれました。毎年この桜を眺めては花見を満喫した晴れやかな気分になっていたのですが、今年は残念ながらそんな気分にはなれませんでした。新型コロナウイルス感染症が東京、大阪といった大都市圏を中心に猛威を振るっており、この茨城でも感染者が増えつつあったからです。

そんな中でしたが、年度頭初の4月1日には当院でも多くの新入職員を迎えました。医師、助産師、看護師はじめ、リハビリテーション科、臨床検査科、薬

剤部、臨床工学室、放射線技術科、栄養科の専門技術職員、更には救急救命士や、事務職員と多職種にわたる計77名の職員です。通常であれば辞令交付をはじめ、入職式を行うのですが、今年は感染リスクを考えて略式としました。しかし済生会創立のきっかけとなった明治天皇のお言葉にある「施薬救療」の基本精神については、しっかり説明させて頂きました。新規入職者の皆さんは、済生会人としての誇りを胸に地域医療のために貢献してくれるものと期待しております。

さて、新型コロナウイルスについて話を戻しますと、万が一感染した場合でも多くの方は症状が

軽く、対症療法で治ることが多いということが分かっています。そのため、感染した方が自覚症状がないまま行動し感染を拡大させてしまうという状況が出現しています。また、インフルエンザが致死率0.1%以下なのに対し、各種の発表資料から見て新型コロナウイルスの致死率が明らかに高い

いのは、肺炎を併発してからの悪化のスピードが速いためと思われます。軽症の患者さんが急速に重症化するケースが多々あることも周知のとおりです。諸対策により一定の改善効果は見えるものの、まだまだ

だ”先の見えない”状況が続く中で、多くの方が恐怖感を抱いておられるのではないのでしょうか。

インフルエンザのような予防ワクチンは現時点で投与可能なものが無く、治療薬についても治験や臨床研究の段階にあるなど、全体としては依然として手探りの状況が続いています。身近な対策としては、三密（密接・密集・密閉）を極力回避すれば感染のリスクは下がるといわれています。患者さんや地域の皆様におかれましても、マスク着用やこまめな手洗い、不要不急の外出や三密を避ける等の感染予防に努めていただきますようお願いいたします。



当院は県立こども病院との間に総合周産期母子医療センターを配しており、ここには県央、県北の周産期の要として、他の医療機関では処置困難な患者さんが運ばれて参ります。また、血液浄化センターでは、様々な合併症を持った患者さんの透析を行っております。さらには茨城県のドクターヘリや水戸市のドクターカーを運用する3次救急病院であります。当院の役割としてこれらの機能を継続することは極めて重要なことです。しかし、これまでマスコミでも報道されておりますように、ひとたび新型コロナウイルスの院内感染が発生してしまうと、医療機関は外来も救急も一時休止せざるを得なくなります。我々に課された地域医療を守るという使命を果たすためには、院内感染だけは絶対に避けなくてはなりません。そのため、来院されるすべての方に対し、入館時に体温など体調のチェックを行う、館内への出入り口を一つにする等の取り組みを行っております。ご不便をおかけいたしますが、ぜひご理解、ご協力いた



きますようよろしくお願い致します。

一方で、毎日搬送されてくる救急患者さんの中にも新型コロナウイルスに感染してしまっている方がいる可能性があります。また当院は地域の皆様の生命を守る高度急性期病院として、茨城県の要請に応じて、新型コロナウイルス感染が陽性の方でも、重症者を中心に救急患者さんを受け入れる方針としております。そのため、地域感染期という蔓延期には、皆様の安全のため予定の検査や手術の延期をお願いする場合があります。ご迷惑をおかけ致しますが、どうぞお許し頂きたいと思

います。皆様と力を合わせてこの困難に打ち勝ち、来年はまた晴れやかな気持ちで桜を愛でられるよう、職員一丸となって取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



病院への出入り口は1箇所とし、入館時に体温チェックや必要な問診をさせていただきます。

水戸済生会総合病院の**新任医師紹介**

本年4月の当院新任医師です。どうぞよろしく申し上げます。

循環器内科



部長
長谷川 智明

循環器内科



部長
篠田 康俊

消化器内科



部長
廣澤 拓也

消化器内科



部長
今井 雄史

消化器内科



医員
高橋 彩月

腎臓内科



医員
武原 瑠那

外科



主任部長
丸山 常彦

外科



部長
加藤 修志

外科



部長
金子 宜樹

整形外科



部長
相場 秀太郎

整形外科



部長
渡邊 仁

形成外科



医員
川口 謙太郎

脳神経外科



部長
芥川 和樹

泌尿器科



部長
濱田 和希

小児科



医員
河合 慧

本年4月1日の入職者

医師	29名	理学療法士	3名
薬剤師	1名	作業療法士	1名
助産師・看護師	31名	言語聴覚士	1名
放射線技師	1名	救急救命士	3名
臨床検査技師	4名	事務員	2名
臨床工学技士	1名	計	77名

写真右
本年4月、総勢31名のフレッシュな助産師、看護師が新規に採用され、看護部のスタッフとして配属されました。今後、長期に亘る研修を経て、徐々に看護の現場に参加していきます。

心臓血管外科



部長
梅澤 麻以子

皮膚科



医員
遠藤 瑠璃子

産婦人科



部長
施 恵子

産婦人科



医員
平澤 亮子

麻酔科



部長
梅崎 健司

麻酔科



医員
宮崎 由美



研修医



医員
黒田 裕和

研修医



医員
甘糟 達也

研修医



医員
嶋志田 愛

研修医



医員
生越 知樹

研修医



医員
伊東 優

研修医



医員
所 理彩

研修医



医員
楠 尚祐



新型コロナウイルス感染症 感染予防対策について

当院では、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、院内への入出制限や一部診療の休止等の措置をとっておりますが、今後、次のように対応してまいります。引き続き、患者様、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、状況の改善によりこれらの対応措置を解除する際には、当院ホームページ等でお知らせいたします。

■ 当院への出入り及び入院患者さんへの面会制限

- 来院される方の出入り口を原則1箇所とし、時間帯により使用箇所を変更しています。
【平日】
・午前7時30分～午後5時00分 正面玄関のみ
・午後5時00分～午後8時00分 救急入口のみ
【土・日・祝日】
・救急入口のみ
- 入院患者さんへの面会は、日用品の受け渡しが必要な場合や病院からの連絡により来院される場合（具体例をホームページに掲載しています。）を除き基本的に中止しています。
- 感染対策を強化しています。
 - ・来院時に病院入口で全員に検温を実施しております。ご自宅を出る前にも検温し発熱がないことを確認して下さい。
 - ・マスクを着用しての来院と入り口での手指消毒をお願いしております。

■ 人間ドック・各種健康診断の再開

- 一時休止していた人間ドック及び各種健康診断を再開します。
【開始日】
 - ・令和2年6月1日（月）から再開予定。
 - ・令和2年4月22日から5月29日間で予約されていた方につきましては、総合健診センターから今後の受診日等についてご連絡を申し上げます。
 - ・再開後の受診予約は6月1日から開始します。
* 詳細は当院総合健診センターにお問い合わせください。

■ 延期された予定検査・手術の再開、外来診療縮小の解除など

- 延期された予定検査や手術を6月1日（月）から再開します。
- 縮小していた外来診療を6月1日（月）から通常の形に戻します。
- 現在臨時措置として実施しているその他の対策につきましては、感染の収束状況にあわせて、国、県、水戸市及び関連機関・団体等による状況判断を踏まえながら、逐次復旧させてまいります。

受診、来院等についての詳細は、当院ホームページをご覧ください。 <https://mito-saiseikai.jp>

幅広い年齢層のかかりつけ医として

当院は、平成12年11月1日、お子さんから高齢者の方まで、地域の幅広い年齢層の方々にかかっていたり、かかりつけ医を目指して水戸市赤塚駅近くの河和田2丁目に開院し、20年目を迎えております。水戸済生会総合病院とは距離が近いこともあり、開院当初より密に病診連携をとらせていただき、各科の先生方に大変お世話になっております。当院のかかりつけの患者さん方も何かあれば水戸済生会総合病院へ紹介してもらえると安心しておられます。

当院の診療科目は内科、小児科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科を標榜しており、内科を中心とした幅広い領域の外来診療を行うとともに在宅医療にも取り組んでおり、クリニックが休診の水曜日午後を中心に訪問診療も行っております。

外来診療では、高血圧症、高脂血症、糖尿病といった生活習慣病をはじめ、循環器領域では、虚血性心疾患や心房細動などの不整脈の管理、心臓弁膜症や心筋症に基づく慢性心不全の治療を行っております。また、ペースメーカー植え込み後の患者さんのペースメーカーチェックも行っております。

呼吸器領域では、気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患の外来管理、睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP治療（在宅持続陽圧呼吸療法）も行っております。

健診業務は、1年を通して行っておりますが、水戸市特定健診の行われる6月中旬から2月末までは特に健診の多い時期となっております。

水戸済生会総合病院の諸先生方、コメディカルの皆様方にはお世話になるばかりですが、今後とも宜しくお願い申し上げます。



福井内科クリニック 院長 福井 利章 先生

内科 小児科 循環器内科 呼吸器内科
消化器内科 糖尿病内科

〒311-4152 水戸市河和田 2-8-1
TEL:029-257-2010
FAX:029-257-1630



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
午後 15:00 ~ 18:30	●	●	-	●	●	▲

休診：水曜日の午後、日曜、祝日

▲土曜日午後は 15:00 から 16:30 まで

水戸市医師会病棟・水戸済生会総合病院 症例検討会について

症例検討会は、3月例会から開催を延期しております。
再開の日時が決まり次第お知らせしますので、よろしくお願いいたします。

この件についてのお問い合わせは → 地域医療連携室 まで 029-254-5151 (病院代表)

